

横浜市立山下みどり台小学校 平成31年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標		教育課程全体で育成を目指す資質・能力
健康や安全の大切さに気づき、すこやかな心と体をつくる子どもを育てます。(体)	← →	〈心身ともにたくましく生きる力〉

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>「笑顔あふれる学校」をめざす。</p> <p>笑顔は、授業で、教室で、仲間と、保護者も、地域も、充実の笑顔になるよう意欲的に工夫改善していく学校。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 主体的に考え、表現する子ども 2 何事にも本気で取り組む子ども 3 人とかわりながら、互いに高め合う子ども <p>職員全体で話し合って共有化した上記のめざす子ども像実現に向けて、学年・学級、各セクトごとに具体的な手だてを検討し、実施していく。</p>

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

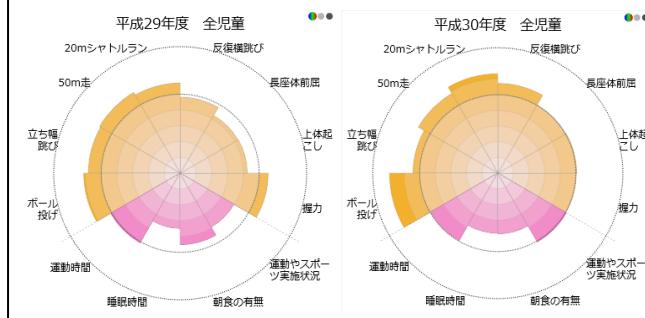
重点取組分野		具体的取組
健やかな体		<ol style="list-style-type: none"> ① 「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に規則正しい生活をしようとする態度を養うとともに、集会活動など楽しく体を動かす活動を取り入れ、進んで運動しようとする態度を育成する。 ② 自己の健康のために、主体的に課題発見・解決できる子どもの育成を目指し、体育科を中心とした授業改善を行う。
担当	体育・保健、M部会	

2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・市の平均に比べ、朝食の摂取率が低く、平均睡眠時間も短い。
- また、運動時間や運動・スポーツの実施状況は市の平均と同程度である。
- ・運動を好むが、休み時間に校庭に出て運動する児童が多くない。
- ・1校1実践運動では、健康や運動に関して楽しみながら関わろうとする子どもが増えている。

(2) 体力の概要と要因の分析（全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用）



29・30年度の2年間の新体力テストの結果を見ると、30年度にかけてほとんど項目が市平均を上回るようになった。中でも、反復横飛び・長座体前屈・上体起こしの数値が伸びており、健康を視点として取り組んできた結果が出ている。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科の取組》

健康な生活を実践する態度、自己の健康のために主体的に課題解決する力を育む

- 子どもが運動の特性に触れた楽しさを実感し、仲間との対話による課題解決や学習資料の活用による主体的に取り組む体育科の授業展開の工夫

《他教科での取組》

生活科 遊びの工夫、自然とのふれあい

理科 体の仕組み、生命、人と環境

家庭科 栄養と食べ物、衣服、家庭の役割

道徳 健康、福祉、安全、生命、協力等

特別活動・総合的な学習の時間

規則正しい生活をしようとする態度、進んで運動しようとする態度を育む

- 保健委員会による「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉にした取組
- 運動委員会と集会委員会の連携による運動集会での運動機会の提供
- 学校医、養護教諭、栄養職員による歯磨きや給食指導などによる自分の生活の状況を見つめ、学んだことを実践できる力を育む特別活動の授業づくり
- 子ども一人ひとりが目標をもって取り組み、体力、健康に関する課題を解決しながら進める運動会づくり

課外活動

- 健全な食生活を営む態度を育むために、給食の時間を活用し、栄養など食に関する指導を行う。
- 各学級が実践的に取り組めるようにするために、学校保健委員会で生活習慣に関するテーマを設定する。
- 体力テストの結果等を共有し、家庭と連携を図るために、個人面談等を利用して保護者と話し合う。

令和元年度 横浜市立山下みどり台小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》

「YM体力アッププロジェクト」(運動委員会を中心とした子ども主体の取組)

《ねらい》

- 自分の体力を知り、学級で日常的に運動に取り組むことを通して、体力・運動意欲の向上を図る。
- 各学級で協力して運動に取り組むことで、良い人間関係を育て、明るく楽しく学校生活を送る。
- 年間を通じた活動を意識することで、継続的に運動に取り組む態度を育てる。

《内容》

- 運動委員会が企画運営する、長縄大会等への全校での取組。

●指 標： ①生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「睡眠時間」「朝食摂取状況」「1日の運動・スポーツの実施時間」

②市学力・学習状況調査の意識調査と子どもの活動の状況との分析